

「運輸安全委員会鉄道事故調査報告書」の公表をうけて

令和2年10月4日に発生した本線逸走に係る鉄道重大インシデントに対し、お客様や関係者の皆様に改めて深くお詫び申し上げます。

この度、令和3年8月26日に運輸安全委員会より、本インシデントに関する鉄道重大インシデント調査報告書が公表されました。

弊社といたしましては、本報告書の内容を厳粛に受け止め、関係者との更なる連携と体制の強化を図り、鉄道事業者の使命である安全運行の確保に責務を全うして行く所存です。

再発防止策につきましては、恒久対策としてのブレーキシリンダに繋がる配管経路の変更は、令和3年8月23日から1編成目を実施し、令和3年度中に同形式全て完了することとし、また列車と動物との衝突を防止する取り組みにつきましても、報告書の内容を踏まえ、関係者とも協議のうえしっかりと取り組んで参ります。

令和3年8月26日
WILLER TRAINS株式会社
（京都丹後鉄道）
代表取締役社長 飯島 徹

参考:WILLER TRAINS(株) 運輸安全委員会鉄道事故調査報告書

URL: <https://jtsb.mlit.go.jp/jtsb/railway/detail.php?id=1975> (運輸安全委員会 HP)